

短大特任教員教育研究業績書

平成30年4月5日

氏名	ふりがな	所属	職 位	性別
福田 明子	ふくだ あきこ	保育学科 通信教育課程	教授・ <input checked="" type="checkbox"/> 准教授・講師・助教	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女

担当科目名

音楽表現 IA、音楽表現 IB、音楽表現 II、音楽表現 III

学 歴

和暦(西暦)年月	事 項	学位
昭和59(1984)年4月	大阪音楽大学 音楽学部 器楽学科 器楽専攻(ピアノ) 入学	
昭和63(1988)年3月	大阪音楽大学 音楽学部 器楽学科 器楽専攻(ピアノ) 卒業	学士(音楽)
平成元年(1989)9月	(米国)Manhattan School of Music 大学院修士課程ピアノ専修 入学	
平成3(1991)年5月	(米国)Manhattan School of Music 大学院修士課程ピアノ専修 修了	修士(Master of Music)
平成5(1993)年8月	(米国)School of Music, The University of Kansas 特別専攻 科 入学	
平成6(1994)年5月	(米国)School of Music, The University of Kansas 特別専攻 科 修了	
平成6(1994)年8月	(米国)School of Music, The University of Kansas 博士課程 ピアノ専修 入学	
平成16(2004)年12月	(米国)School of Music, The University of Kansas 大学院博 士課程ピアノ専修 修了	博士(Doctor of Musical Arts)
平成29(2017)年4月	明星大学通信制大学院教育学研究科教育学専攻 入学(現在に 至る)	

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教育内容又は業務内容
The University of Kansas 人文学部東洋言語・文化学科	平成6年8月 ～平成10年8月	米国 The University of Kansas, Department of East Asian Languages and Cultures, Teaching Assistant
島根県立大学 総合政策学部	平成14年10月 ～平成14年12月	島根県立大学総合政策学部 非常勤講師
島根県立大学 総合政策学部	平成17年4月 ～平成18年3月	島根県立大学総合政策学部 非常勤講師
国立病院機構浜田医療センター附属看護学校	平成17年4月 ～平成22年3月	浜田医療センター附属看護学校 非常勤講師
龍谷大学 学部共通英語コミュニケーションコース	平成24年4月 ～平成26年3月	龍谷大学学部共通英語コミュニケーションコース 非常勤講師
大和大学教育学部	平成26年4月 ～平成29年3月	大和大学教育学部 非常勤講師
大阪外語専門学校	平成27年4月 ～平成28年3月	大阪外語専門学校 非常勤講師
小田原短期大学	平成28年4月 ～現在に至る	保育学科通信教育課程 准教授

所 属 学 会 等

名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
The College Music Society	平成13年 ～平成17年	研究活動、学会発表
日本ダルクローズ音楽教育学会	平成27年 ～現在に至る	研究活動
日本学校音楽教育実践学会	平成27年 ～現在に至る	研究活動

日本保育者養成教育学会		平成 28 年 ～現在に至る	研究活動	
社 会 活 動 等				
名 称		活動期間	活 動 内 容	
英語リトミック		平成 27 年 4 月 ～現在に至る	ECC オープンスクエアにおいて、2～5 歳児への英語リトミック体験講座	
親子リトミックワークショップ		平成 28 年 10 月	兵庫県の明南保育園において保護者主催のフェスティバルで親子リトミックを指導	
リトミック指導		平成 29 年 2 月	兵庫県の明南保育園において 5 歳児のリトミック指導	
保育園リトミック指導アシスタント		平成 29 年 4 月 ～現在に至る	大阪府の杉乃木保育園で 3～5 歳児クラスのリトミック指導および保育士研修のアシスタント	
担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等				
名 称		取得年月	取 得 機 関	
実用英語技能試験 1 級		平成 23 年 7 月	日本英語検定協会	
リトミック講師資格 ディプロマ A		平成 29 年 3 月	リトミック研究センター	
研 究 実 績 に 関 す る 事 項				
代表的な著書、 論文等の名称	単著共著 の別	発行又は 発表の年 月	発行所、発表雑誌 又は発表学会等の 名称	概 要
(著書) 1. 幼児教育における表現 I 〈理論的研究編〉	共著	平成 30 年 1 月	株式会社三恵社 (97 ページ)	幼児教育における表現に関する理論的研究の専門書。筆者は「幼児の表現力を育むリトミックの専門性」という研究論文を寄稿した。リトミックは感性と表現力を育む教育として、幼児教育の分野で盛んであるが、音楽教育を基盤とする教育法であることが、保育現場の指導者には周知されていない。その十分な教育効果を得るために、リトミックの創案者、E・J＝ダルクロワズの教育理念を踏まえて、幼児リトミックの専門性を明らかにした。 (共著者：崎浜聡、山西多加、永易直子、 <u>福田明子</u> (pp. 41～45) その他 12 名)
2. 幼児教育における表現 II 〈実践的研究編〉	共著	平成 30 年 1 月	株式会社三恵社 (121 ページ)	幼児教育における表現に関する実践的研究の専門書。筆者は「幼児リトミックで求められるピアノの表現技術」という研究論文を掲載。リトミックでは、子どもが「聴き、感じ、考え、表現する」ことが重要視されるため、その実践には表現力豊かな音楽の存在が前提である。本稿では、実践で求められるピアノの表現技術を、幼児向けリトミックの活動案における活動目的と、ピアノ演奏の留意点を考察することにより明らかにした。(共著者：崎浜聡、山西多加、佐藤奈美、 <u>福田明子</u> (pp:47～56)、その他 12 名)
(博士論文) A Search for Identity: Postmodern Trends in Japanese Piano Music since	単著	平成 16 年 12 月	Graduate School of Music, The University of Kansas	John Cage を中心に世界中を席卷させた実験音楽が下火を迎え、日本の音楽界にポストモダンの波が流れ込んだのは 1970 年後半のことである。懐古ロマン主義の音楽が主流としてあげられる中、1985 年以降にポストモダニズムとして「折衷の音楽」「引用の音楽」「汎アジアの音楽」

1985				の3つのストリームが顕著になる。これらの音楽の背景とともに代表的ピアノ曲を作曲学的に分析し、日本におけるポストロマン主義音楽の経緯と行方を明らかにした。
(学術論文) 乳幼児を対象とした親子リトミックワークショップの事例研究	共著	平成 29 年 4 月	小田原短期大学研究紀要第 47 号	兵庫県内の保育所に通う、0～6 歳の乳幼児を対象とした年齢別の親子リトミックを行い、乳幼児と親が、どのような音楽表現活動に楽しさを感じるのかを明らかにした上で、音楽表現ワークショップで乳幼児が楽しさを感じ取るためにはどのような要素を重視した指導案を作成すべきか、講師がどのような指導技術を備えていなければならないかを明らかにした。また、1 回完結型ワークショップならではの特性と限界について質的、量的調査から明らかにすることができた。 (pp. 143-153) (共同研究により抽出不可：第 I 章のリトミックに関する記述全般と第 IV 章の実践事例の執筆を担当。) 共著者：小松原祥子、 <u>福田明子</u> 、萩原恵里
(研究ノート) 保育者養成課程のスクーリング「音楽	共著	平成 29 年 4 月	小田原短期大学研究紀要第 47 号	保育者論養成課程のスクーリング授業「音楽表現」において、幼稚園で音楽表現活動を展開するために必要となる音楽の基礎的事項（音楽理論、歌唱、楽器演奏、創作、音楽表現力、ピアノの弾き歌い等）を、サウンドスケープ、リトミック、合奏、合唱、創造的音楽学習、模擬保育等の活動の中で、全て子どもの歌を用いて活動の状況に埋め込むことにより、知識と実践を結び付け、学生が効果的に学習できることを明らかにした。 (pp. 218-229) (共同研究により抽出不可：第一部のフォルマシオン・ミュージカルの特性について一部執筆と授業実践の概要についての執筆を担当。) 共著者：小松原祥子、 <u>福田明子</u> 、木村文子、萩原恵里、崎浜聡
(学会発表) 1. A Search for Identity: Postmodern Trends in Japanese Piano Music since 1985	単独	平成 15 年 3 月	Music of Japan Today 2003 (於 University of Maryland)	1970 年後半に日本へもポストモダン音楽が現れ始めた。その中でも特に 1985 年以降に顕著になるピアノ音楽におけるポストモダニズムに焦点をあて、そのメインストリームとなる3つのトレンドについて言及するとともに、その後における世界的音楽事情を予見する。
2. Japanese Postmodern Piano Works Since 1985: Compositions of Yoshimatsu, Fujieda, and Nishimura	単独	平成 16 年 11 月	The College of Music Society 年次大会 (於 San Francisco, California)	1985 年以降に現れ始めた日本のピアノ音楽におけるポストモダニズムの3つの流れを、3人の当時の若手作曲家(吉松隆、藤枝守、西村朗)に焦点を当て、それぞれの音楽を作曲学的、哲学的の両面から検証する。
(ポスター発表)				

保育者養成校スクーリングにおける保育内容『表現』科目間連携の可能性(4)－『音楽表現 IA』『音楽表現 IB』の振り返りシート分析から－	共	平成 30 年 3 月	日本保育者要請教育学会第 2 回研究大会	本研究では「表現」実技科目の目的意識を共有することにより、学生の学びの質向上を目指すと共に、幼稚園教育要領で求められる「表現」を総合的に教授できるかどうかを検討した。方法としては、振り返りシートの自由記述についてテキストマイニングソフト KHcoder を用いて分析を行った。その結果、学生の学びとして「保育的配慮」、「アンサンブルにおけるタイミングや響きのバランス、仲間と創り上げていく難しさ」、「人前での弾き歌いのため積極的に練習に励む姿勢と今後の継続的学習の必要性の実感」が窺えた。連携については学生の学びの特性にばらつきはあるが、総合すれば互いに補填し合っていた。 (木村文子、萩原恵里、福田明子、近藤正子、小松原祥子)
(レクチャーリサイタル) 1. 1985 年以降の日本のピアノ音楽におけるポストモダンの行方:アイデンティティーを求めて	単独	平成 15 年 3 月	みずほ楽器 (島根県浜田市)	1970 年後半に日本の音楽界にポストモダニズムが流れ込む。日本では長らく懐古ロマン主義の音楽が主流であったが、1985 年以降に「折衷の音楽」「引用の音楽」「汎アジアの音楽」の 3 つの新しいストリームが顕著になる。その歴史的背景に言及した上で、これらの音楽の特徴について明らかにした。また、代表的ピアノ曲を作曲学的に分析し、日本におけるポストモダン音楽の経緯と行方を明らかにした。実際にピアノ曲を演奏することにより例を示した。
2. 現代音楽の世界へようこそ	単独	平成 17 年 5 月	島根県立大学第 30 回アカデミックサロン	現代音楽は多様であり、一般的には難解であると思われる。しかし、音楽史や時代ごとの音楽様式と音楽的特徴、さらには作曲家の思想や哲学的な考えを理解することにより、作品を楽しむことができるようになる。バロックや古典的なクラシック音楽から現代の実験音楽や前衛音楽までの歴史を簡単に振り返り、ポップスや他ジャンルの音楽を含む現代の音楽を検証し、演奏により提示する。
3. ショパン：ピアノに歌わせる作曲家	単独	平成 22 年 11 月	リビング滋賀	ショパン生誕 200 年にあたり、「ピアノの詩人」と言われたショパン音楽の魅力を解説し演奏する。2 部構成で、前半は“練習曲”“ノクターン”を取り上げ、ショパンの音楽的、作曲学的特徴を明らかにする。後半はショパンの出生地であるポーランドの民族性を持つ“マズルカ”、優雅で華やかなパリでの生活を投影する“ワルツ”、そして晩年の病苦を思わせる“バラード”等を取り上げ、ショパンの生涯をたどる。
(演奏) 1. ソロリサイタル	単独	平成 3 年 3 月	Hubburd Recital Hall (New York, New York)	Bach “ <i>French Suite No. 2 in C minor</i> ”, Beethoven “ <i>Sonatas op. 109</i> ”, Ravel “ <i>Le Tombeau de Couperin</i> ”, Chopin “ <i>Scherzo No. 1 in B minor</i> ” の曲目でリサイタル開催。
2. ソロリサイタル	単独	平成 8 年 11 月	Swarthout Recital Hall	Mozart “ <i>Sonata K. 570</i> ”, Debussy “ <i>pour le piano</i> ”, Chopin “ <i>Sonata No. 3 op. 58</i> ” の曲目

			(Lawrence, Knasas)	でリサイタル開催。
3. ジョイントリサイタル	共演	平成9年3月	Swarthout Recital Hall (Lawrence, Knasas)	ソロの曲一人 30 分 (Bach, Mozart, Chopin, Mendelssohn の小品) でのジョイントリサイタルを開催。(共演者: Misha Park, Felix Chang)
4. ジョイントリサイタル	共演	平成9年4月	Swarthout Recital Hall (Lawrence, Knasas)	ソロの曲一人 40 分 (Beethoven, Debussy, Liszt, Scriabin, Chopin, Suzuki の小品) でのジョイントリサイタルを開催。(共演者: Misha Park, Felix Chang)
5. コンチェルトリサイタル	単独 (伴奏付)	平成11年10月	Swarthout Recital Hall (Lawrence, Knasas)	Mozart “ <i>piano concerto No. 27 in B-flat Major</i> ” および Prokofiev “ <i>piano concerto No. 1 in D Major</i> ” の曲目によるコンサートをピアノ伴奏で開催。(伴奏者: 大城英明)
6. カンザス大学シンフォニーオーケストラとピアノ協奏曲共演	共演 (ソロリスト)	平成12年1月	The Lied Center (Lawrence, KS)	カンザス大学シンフォニーオーケストラと、Prokofiev “ <i>piano concerto No. 1 in D Major</i> ” の曲目による共演。
7. ソロリサイタル	単独	平成12年4月	Swarthout Recital Hall (Lawrence, Knasas)	Schumann “ <i>Kinderzennen</i> ”, Debussy “ <i>Children’s Corner</i> ”, Ravel “ <i>Valses Noble et Sentimentals</i> ”, Liszt “ <i>Mephist Walts</i> ” の曲目によるリサイタル開催。
8. 公開講座客演演奏	共演	平成20年6月	Centro Cultural de Belem (ポルトガル、リスボン)	Sequeira Costa 公開講座において、客演ピアニストとして Chopin “Ballard No.1”, Debussy “Soiree dans Granade” を演奏。(共演者: Stuart Deaver, Daniel Cunha, Hideaki Oshiro)
その他 (奨学金 国際親善奨学金)	ロータリー財団	平成5年8月よりロータリー財団の親善大使として、米国カンザス大学大学院音楽学部特別専攻科に1年間在籍。現地の小学校や大学等で日本を紹介する発表、演奏等行う。		